

2012年度協定校留学近況報告書

記入日	2012年 11月 19日
留学先大学	リンシェーピン大学
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) <small>※学部等名(日本語):アーツアンドサイエンス学部, (現地言語での名称):Faculty of Arts and Science</small> <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している。 <input type="checkbox"/> その他:
留学期間	2012年8月ー2013年6月
明治大学での所属	国際日本学部国際日本学科__専攻 / __研究科__専攻
学年(出発時本学での学年)	学部3年生 / 研究科 <input type="checkbox"/> 博士前期課程 <input type="checkbox"/> 博士後期課程 年生

I. 出発前にどのように情報を集め、準備をしましたか。しておいて良かったこと、準備不足だったこと、ぜひ次の学生に準備としてアドバイスしたいことを記述してください。

以前留学に行った先輩方の資料を見たり、スウェーデンのみならずアメリカに留学した友達に、持って行って便利だったものや準備しておいたほうが良いものを聞いて回った。同じ大学に留学する友達と事前に連絡先を交換し情報共有をしたおかげで、準備万端で行くことができた。

II-1. 留学のための渡航前手続き(留学ビザ) ※詳細に記入して下さい

ビザの種類: 留学のための居住許可	申請先: スウェーデン移民庁
ビザ取得所要日数: 1か月 (申請してから何日/週間要したか)	ビザ取得費用: 0円

ビザ取得のためにどのような書類の提出が求められましたか? また、どのように手配しましたか?

パスポート、留学許可書、残高証明書(月 7300kr × 滞在月分の残高が必要)

具体的な申し込み手順を教えてください。

インターネットから申請、書類は PDF 化して提出。

ビザ取得の際に、留学先国大使館で面接のあった方は、どのような質問を受けましたか?

ビザ取得に関して困った点・注意点

居住許可を申請した時には渡航まで1か月を切っていたので、通常6週間から8週間かかると聞いたときははらはらした。なんとか間に合ったものの余裕を持って申請することをおすすめする。

II-2. 留学のための渡航前手続き(その他の事前準備について)

その他済ませておくべき準備があればお書き下さい(現地での現金調達準備, 携帯電話購入, 荷物運送など)

渡航前には現地で現金を調達できる手段として何が便利だったかを聞いた結果、キャッシュパスポートを申込んだ。携帯電話は iPhone ではシムフリーが使えないことがわかったので、現地で買うことに決めた。自分の携帯がシムフリーで使えるかどうかの確認もしておいたほうがよい。

III. 現地到着後のながれ

1. 到着時の様子

利用航空会社	スカンジナビア航空
航空券手配方法	明治大学リエゾンデスクの斡旋 <small>※利用した旅行社・旅行サイト, 格安航空券情報等があれば記入して下さい。</small>

大学最寄空港名	リンショーピン空港	現地到着時刻	18:20		
キャンパスへの移動手段	<input type="checkbox"/> 大学手配の出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 知人の出迎え	<input type="checkbox"/> 公共交通機関 (<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車)	<input type="checkbox"/> タクシー	<input type="checkbox"/> その他
移動の所要時間	15時間				

空港からキャンパスへの移動の際の注意点、タクシー・公共交通機関で移動する際の行き方、料金等

大学の最寄り空港はリンショーピン空港だが、私はストックホルムのアーランダ空港に着き、ホテルで1泊してから翌朝の電車で2時間かけてリンショーピンに向かった。電車の料金は覚えていないが、とても高かった覚えがある。また、治安は比較的良好な外国であることをよく考え、夜に着くのなら近くのホテルで1泊することをお勧めする。またリンショーピンの駅からはバスで移動するが、最初は何のバスに乗ればいいのかかわからない上、バスカードでお金を払うシステムなので、現地の学生に出迎えに来てもらったほうがよいと思う。(ピアースチューデント制度を利用すれば、お世話をしてくれる現地の学生が付いてくれる。)

大学到着日 8月15日 12時頃

2. 住居について

到着後すぐに住居入居できましたか？	<input checked="" type="checkbox"/> はい	いいえを選んだ方： 月 日から入居可能だった。
	<input type="checkbox"/> いいえ	
住居のタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 寮	<input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> その他()
部屋の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 一人部屋	<input type="checkbox"/> 二人部屋 <input type="checkbox"/> その他()
ルームメイト	<input type="checkbox"/> 日本人学生	<input checked="" type="checkbox"/> 他国からの留学生 <input type="checkbox"/> その他()
住居を探した方法	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の斡旋	<input type="checkbox"/> 自分で探した <input type="checkbox"/> その他()
住居の申込み手順	大学から寮の紹介のメール来るので、それに従って登録。2-3か月して寮の居住許可のメールが届く。	

住居は渡航前に、また渡航後すぐに見つかりましたか？トラブルはありましたか？

すぐ見つかった。トラブルなし。

3. 留学先でのオリエンテーションについて

オリエンテーションの有無	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった
日程	8月17日
参加必須ですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 必須 <input type="checkbox"/> 任意参加
参加費用は？	<input checked="" type="checkbox"/> 無料 <input type="checkbox"/> 有料(金額:)
内容と様子は？	大きなホールで各国留学生と共に参加。
留学生用特別ガイダンス	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった
授業開始日	9月4日から

IV. その他、渡航してから必要な手続きについて

1. 現地で滞在許可等の申請の必要はありますか？いつ、どこで、方法は？日数、料金は？トラブルは？

リンショーピンの移民庁に出向き、正式に居住許可を貰う。申請後1週間ほどしてビザカードが届く。無料。

2. その他現地でした手続きは？(健康診断、予防接種等)いつ、どこで、方法、日数、料金は？トラブルは？

なし。

3. 現地で銀行口座を開設しましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？

なし。

4. 現地で携帯電話を購入しましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？

携帯ショップでスマートフォンを購入。1年間契約、インターネット使い放題で約700kr(約8000円)。

V. 履修科目と授業について

1. 履修登録はいつどのような形で行いましたか？

出発前に(5 月後半日頃)
 オンラインで登録 志願書類に記入して登録 できなかった その他()

到着後に(月 日頃)
 オンラインで登録 国際オフィス等の仲介 できなかった その他()

登録時に留学生として優先されることは あった なかった

優先が「あった」方はどのように優先されましたか？

優先が「なかった」方はどのように登録しましたか？

出発前に授業を登録した方は、現地で変更・追加できましたか？また希望通りの授業が取れましたか？

変更可能。希望通り。

2. 履修単位数

一学期の登録単位数・科目数を教えてください。 5 科目 45 単位
 多すぎた ちょうど良い 少なすぎた

留学先大学の学生は週平均何科目とるのが一般的ですか？ 4 科目／週(8 時間)ぐらい

3. 授業内容

現在までに受講している授業はどのように授業が進められていますか？(予復習、テスト準備など、アドバイスもご記入下さい。)(下記授業の履修時期: 年 月から 年 月)

No.	コース名／教授名	時間数／週	留学先での単位数
1	The Swedish Model	2 時間/週	15
スウェーデンの歴史と福祉、社会システムについての授業。1クラス 20 人ほど。試験は paper のみで計3回。paper 提出後、Final paper を除いて全てセミナーがあり、自分や相手の paper についてディスカッションを行う。前半の授業では reading とディスカッションが頻繁にあった。			
2	Academic English for exchange student	2	7.5
grammar と writing 技術について。1クラス 30 人—40 人。paper1 枚と筆記テスト1回。全授業の 60%出席していないとテストを受けることが出来ない。paper は2枚ほどでペアワーク。			
3	Beginner's Swedish for exchange student	3	7.5
基礎からのスウェーデン語。1クラス 20 人ほどで和気あいあいとした雰囲気。たまに writing の小テストがある。12 月に writing と oral のテストがある。宿題は少ない。			
4	Terrorism, Violence and Religion	3	7.5
今月から授業が始まったためまだわからないことが多いが、主にイスラムとキリスト教について勉強。なぜ宗教がテロリズムを起こす原因となるのがテーマ。毎回2冊ほど指定された文献を読まなくてはならない。paper は3回あり、全て 1500 字ほど。授業の最後にはプレゼンテーションがある。クラスメイトは年配のかたも多く、さまざまな視点に立った発言が聞ける。			
5	Globalization and Global Justice	不明	7.5

まだ始まっていない授業なので詳細は不明だが、NGO などの機関について勉強する予定。

VI. 一週間のスケジュール 授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入してください。

	月	火	水	木	金	土	日
7:00							
8:00		起床					
9:00	起床	準備	起床	起床	起床		起床
10:00	レポート	学校	映画鑑賞	学校で勉強	勉強	起床	
11:00							
12:00	昼食	帰宅、昼食	昼食		昼食	昼食	昼食
13:00		勉強	勉強	授業	映画鑑賞や Fika	勉強	
14:00	準備						
15:00	学校					Fika	
16:00		洗濯など	準備		勉強		
17:00	帰宅、勉強		学校	帰宅			
18:00	勉強	買い物		夕食	夕食	勉強	
19:00		夕食		勉強	サウナ	夕食	
20:00	友人宅で夕食	勉強	帰宅			映画鑑賞	パーティー
21:00			友人と食事			勉強	
22:00							
23:00	帰宅、映画鑑賞				帰宅		
24:00	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝

VII. 現在までの感想

留学先大学、プログラムについて、授業、宿舎、生活全般についてなど、自由に書いてください。

こちらに来てからとても充実した生活を送っています。こちらでの生活は勉強のみならず、他のヨーロッパの国々を旅行したり、今まで会ったことのない国籍の人と出会うことが出来たり、人生でかけがえのない経験となっています。しかし、英語力不足でヨーロッパ人との会話がうまくいかなかったり、授業でうまく発言できなかったりなど悔しいことも多いです。そして英語の上達に関しては、自分の努力が必要だと痛感しています。スウェーデンは英語が母国語の国ではありませんし、いくらネイティブ並みにうまいとは言え、聞こえてくるのはほとんどスウェーデン語です。私は英語を頑張りたいという気持ちも大きかったので、やはり始めは焦りました。ですから、こちら上記のようにアメリカのテレビや映画を見る時間をあえてついたり、友人との Fika(お茶の文化)をしたり、意識的に英語を聞いたり話したりする機会を作っています。また、フランスやスペインなどの訛りのある英語や崩した英語、また年配の教授のスウェーデン訛りの強い英語は、自分の英語力の限界もあって理解することが出来ず、意思疎通や内容理解に支障をきたすこともあります。その点では英語圏への留学が羨ましく感じたのも事実です。しかし、もちろん留学の目的は英語だけではありませんし、スウェーデンに来てからさまざまな国籍の友人が増えていき、自分の視野が広がっていく感覚は何にも代え難く、これこそが留学の醍醐味だと確信しています。またスウェーデン人はとても静かですが、とても優しく日本人と似たような印象を受けます。年配の方は訛りのある人もいますが、みんな意思疎通に全く支障をきたさないくらいの英語力がありますし、若い人に至ってはネイティブと話していると勘違いしてしまうほど、英語がとてもきれいですので、日常生活を送っていく上では問題がないと思います。

留学先大学を目指す学生に向けてのアドバイスをお願いします。

ここに来るまでに英語の勉強はしっかりとしたほうがよいと思います。英語が第二外国語の国だからこそ、英語がきちんと話せることが大事です。ヨーロッパ人の英語は早くまた訛りのある人も多く、発音が悪いと聞き取ってくれないことも多いです。また日本のことを聞かれることが本当に多いので、自分の国を英語で説明できるようにしておいたほうがよいと思いますし、ディスカッションの機会が本当に多いので、自分の考えを言葉にできるようにしておいたほうがよいと思います。